

## 第4回 Digital Innovation City 協議会 議事録

- 日時：2022年3月22日（火）16時～17時
- 場所：WEB会議
- 参加者：構成員8者各委員（3者代理）

### ■ 議事：

<Digital Innovation City 協議会のロードマップ（案）>

- 港湾局より、DIC 協議会のロードマップ（案）について報告
  - ・ 「少し先の未来を体験できる、ライブ・エンタメ分野を軸とした、出会い、つながり、共に創るまち」のキャッチフレーズを設定
  - ・ 具体的な事例として、技術を持つスタートアップとサービスを提供する事業者のサイクル、来訪者同士の出会いと関係作りのサイクル、来訪者が新たなサービスに出会い、地域のファンになって SNS で共有・拡散し、まちの認知や PR につなげるサイクルを想定
  - ・ 2025年にライブ・エンタメの象徴的なイベントが開催され、モビリティ・物流、防犯・防災、環境・サステナビリティの取組を連動して行うことで、まず来訪者が集まり、賑わうまちとし、2030年には商機を求めるスタートアップが集積することを目指す
  - ・ 地図上で2030年のゴールイメージを整理。また、アーキテクチャについても整理
- 主な意見
  - ・ 広告協定規制緩和については、各方面に調整が必要な事項であり、今後ご相談させていただきたい
  - ・ 公園内3Dマップはどのようなイメージを想定されているのか
    - ✓ 仕様等はこれからであり具体的にお示しできない状況。ただし例えば自動運転をするにも、3Dマップを作る必要がある。汎用的なマップを作り新規取組に使えるよう整備したい
  - ・ 公園とは、具体的にはシンボルプロムナード公園を想定か
    - ✓ シンボルプロムナード公園を検討している
  - ・ 2030年のまちの姿にBRTの記述があるが、既に虎ノ門からBRTをつなぐ計画があり、2030年整備では遅いのではないか
    - ✓ 2030年に整備するわけではなく、その年には存在している乗り物と想定
  - ・ スタートアップへはどのような施策を考えているのか。具体的にどこに集積するのか
    - ✓ 施策はワンストップ窓口や補助制度を想定、後ほど来年度の取組のところでご説明したい。集積エリアについて具体的に決めておらずお示しはできない
  - ・ ゴールイメージに用いている地図を2030年に想定される内容としてほしい。2030年に想定される施設・地図が下に敷かれれば、より建設的な検討ができると思う

<令和 4 年度 of 取組方向性、及び令和 4 年度 DIC 関連事業>

- 港湾局より、令和 4 年度 of 取組方向性、及び令和 4 年度 DIC 関連事業について報告
  - ・ 東京都臨海副都心 D X 推進事業補助制度【新規】  
補助対象事業 of (1)「臨海副都心におけるデジタルテクノロジー of 実装に関すること」に「②デジタルテクノロジーを用いたにぎわいの創出」を新設  
令和 4 年度は 4 月から審査受付開始、問い合わせ先は臨海開発部誘致促進課
  - ・ 自動運転プロジェクト【拡充】  
来年度はエリアを拡大して実施。プロモーターを指定し、事業者を公募
  - ・ DIC ワンストップ窓口【新規】  
窓口を臨海ホールディングス内に設置し、スタートアップから先端技術 of 実証に利用できる施設、公園、道路などに関する相談を受付
  - ・ 5 G 普及促進事業【新規】  
5 G の活用策が分からないというまち of 事業者に対し、ユースケース of 紹介やヒアリングを行い専門家を派遣する等、まち of 事業者と通信事業者間 of 調整を支援し、5 G の普及促進を促す
- 主な意見
  - ・ 例えばロボットの走行において警察など of 各所との調整や申請が必要となる場合、ワンストップ窓口で調整は助けていただけるのか
    - ✓ 窓口が調整の間に入る形になればと思う。ただし、窓口 to 一言いえば解決するわけではないことはご理解いただきたい。一緒にニーズを探りながら進めるということとしたい。補足すると臨海ホールディングスが委託発注した事業者が窓口となり、一緒に運営する形になる

<その他>

- 協議会運営事務局より、今後のスケジュールを説明
  - ・ 既にご案内している令和 4 年度 of 企画提案に関して、提出 of 締め切りが今週末 (25 日)。ご提出いただいたのち、順次皆さまにヒアリングを予定
  - ・ 次年度 of 第 1 回協議会 (総会) は 4 月下旬を予定。それに先立ち、構成員 of 委嘱に係る書類を港湾局から 3 月中に送付予定

以上